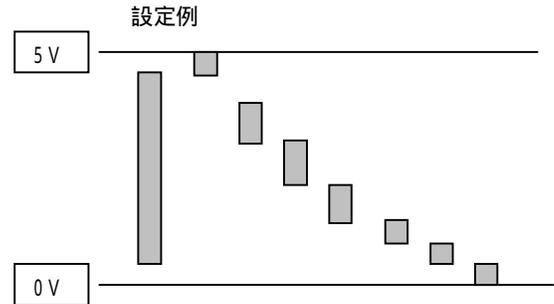
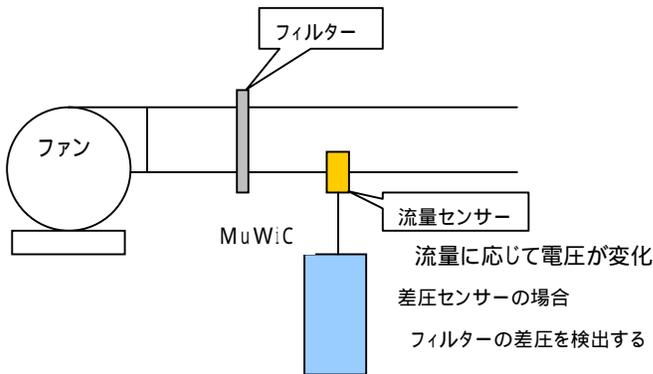


流量センサーで風量を検知し、フィルターの目詰り判定を行う。

構成



- :動作範囲
- :目詰り少
- :目詰り中
- :目詰り大
- :目詰り過大
- :目詰り警報
- :目詰り異常
- :ファン停止状態(風量なし)

- 目詰りの程度が目視出来、交換や清掃の予定を早めに立てられる。
- ファンをインバーターで制御している時は回転が落ちると風量も少なくなるので、回転が落ちた時の判定基準を決めて設定すると、回転が落ちた時も目詰りの判定を正常に行うことが出来る。
- 流量センサーではなく、フィルター前後の差圧を検出して、判定する方法もセンサーを変更すれば可能である。

メリット

- 清掃計画が事前に予測出来る。
- 調整が簡単
- メンテナンスが簡単になる。
- 変速でも条件が決められる。
- 基本 8 品種、応用 16 品種が 1 センサーで設定出来る。
- 可動部が無く、故障が少ない。

応用例

- 換気ファン
- 冷却ファン
- 排気ファン
- その他